かみかわ
議会広報
第194号 令和6年7月発行

一　般　質　問……P 2～7

町議会審議結果……P 8～11
5月定例会

政務活動費報告……P12

委員会等の動き……P13

表紙のコメント……P14

発行/上川町議会　　編集/議会広報特別委員会

上川高校のPRポスターを自主制作する2年生の授業風景

第３回町議会

一般質問

町政を問う

令和６年第３回町議会（定例２）の一般質問は、５月27日に行い、渕上議員他２名が町長の考え方を問いました。

（記事の内容は要点を掲載しております。）

介護福祉

介護施設存続のため支援を　他1件

町長「支援続けるが、特養改修など未検討課題も」

（渕上主美（ふちがみかずみ）議員）

町内介護施設の存続について

渕上議員

今、地方の介護施設の経営が行き詰まり、社会福祉法人や企業が運営から撤退する事例が増えている。上川町には、「社会福祉法人かみかわ福寿園」と「グループホームまどか」があるが、あの凄まじいコロナ禍を乗り切って利用者を守り、疲弊しながらも何とか運営してきたのだろうと察する。物価の高騰等、経営もかなり厳しい状況と聞いている。もし施設閉鎖にでもなれば、福祉サービスの低下や人口流出に直結する深刻な問題となる。

町として、この施設の重要性の認識と今後の存続に向けて、町長の考えを伺う。

町長

町内には２つの民間施設があり、高齢者の自立支援や生活支援、介護予防などの高齢者の生活の質の向上のほかに、介護をされるご家族の負担軽減にもつながっている。

このような状況の中、安定した施設運営をしてもらうために「かみかわ福寿園」に対して、施設改修事業のほか、エアコンやフロアカーテンの更新、福祉車両の購入など、町として一定の支援を行ってきた。「グループホームまどか」に対しては、施設改修事業として、スプリンクラー設置に係る支援を行ってきている。

また、燃料高騰や物価高騰の対策として、令和４・５年に国の交付金を活用しながら、両施設に一定額の補助を。コロナ禍では、感染拡大防止対策として、マスクやゴム手袋、消毒薬など、現物で提供した。

「福祉人材確保対策助成金」事業では、介護職員等の資格取得に対する助成金や、福祉施設に就労した時の就労助成金など、間接的ではあるが、施設への支援も行っている。

町が策定した「第９期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を実践しながら、当町の実情に応じた施設の運営が行われるよう、関係機関と連携を図りながら、住民福祉の向上に向けて取り組んでいく。

渕上議員

全国の特別養護老人ホーム（以下「特養」）の半数以上が赤字で、上川町も同様であり、積立金を取り崩して対応している。今後に向けて計画的な支援をしてほしい。

町長

大変厳しい状況は認識しており様々な形で支援してきた。積立金があるうちは自助努力していくということであったが、今後に向けて協議を進め支援していく。

渕上議員

特養は平成4年に開設し32年が経過して傷みが出てきた。近隣町村の特養は大規模改修を行ってきている。改修の際、借り入れなどすることになるが、町としてどう対応できるのか。

町長

今の段階では考えを持ち合わせていない。改修の際の財源や老朽化の程度や改修内容を今後特養と協議し、どういった支援ができるか検討したい。

渕上議員

特養に8名の方が町外から通勤してきている。移住定住政策と介護福祉人材確保支援事業の拡大をリンクしながら上川町に移住できないか。

町長

検討したい。

渕上議員

介護職員は他と比べ仕事がきつい割には給与水準が高くない。上川町にとって重要な職務であり家族が助かっている。十分配慮してほしい。

公共施設の整理について

渕上議員

既に使用していない公共施設は、衛生センター、層雲峡の旧浄水場と旧消防署の住宅、旧給食センター、これは利活用するということだがかなり老朽化している。さらに今後保育所が対象となり、また行政執行方針にあった「義務教育学校」が実現すると小学校か中学校、あるいは両方の学校が不要になる。

このような公共施設を取り壊し、整理して、今後の町の身の振り方に柔軟に対応できることが必要と考える。町長としての考えを伺う。

町長

町の公共施設等については、1970年代から1990年代に建設されたものが多い。老朽化した施設について、計画的な建て替えや他地域での広域利用により、住民への影響がないよう進めている。未使用施設などについては、一定の整理を実施したい。

一方で、すべての公共施設を一体的に検討していくことが効率的であり、緊急度や重要度を考慮しながら進めている。

未使用施設は、物品の保管庫としての活用が多く、また、跡地利用ができない施設もある。今後は、財政負担を踏まえた中で、老朽化が激しい施設や市街地にある施設などから計画的に対応を進めていきたい。

また、全体的な公共施設の運営においても、長期的な視点に立った維持管理に努めたい。

渕上議員

かみんぐホールや医療センターの老朽化で、改修しなければならない状況にもある。限られた財源であるが、効率的な執行で整理願いたい。

（旧　給食センター）

町長　町民が利用している施設の改修を優先しながら施設を整理していく。保育所は解体する考えである。

渕上議員　保育所の跡地利用については、買い物できる場所が近く立地条件がよいので、高齢者の住宅等が望ましいのでは。

町長　検討したい。

～DMO（Destination Management/Marketing Organization）とは～
コンセプトに沿った地域観光地づくりの舵取り役。
大雪山ツアーズ㈱は「北の山岳リゾート（日本一早く最も美しい紅葉と温泉とガーデンのまち）」をコンセプトに、事業者・住民・行政等が連携して行う事業を推進している。

行政執行方針

着地型旅行商品の利用見通しは？　他2件

町長「モデルツアー高評価、次に繋ぐ」

（溝口久男（みぞぐちひさお）議員）

溝口議員　大雪山ツアーズの旅行商品について

町長行政執行方針について伺う。1つ目として、観光業の振興で「大雪山ツアーズ㈱（地域型DMO）を中心に新たな旅行形態として注目されるアドベンチャートラベルに対応したアウトドアコンテンツ等の着地型旅行商品の造成販売を進める」とあるが、具体的な商品のこれまでの利用状況について伺いたい。

町長　ご指摘の商品については、滞在促進に向けた着地型商品としてこれまでにも企画してきたが、コロナ禍による影響もあり、採算性の観点から大きな誘客につながるような商品販売にはいたっていない。

溝口議員　昨年から外国人旅行者も全国的に増えてきている。昨年は多少改善したのか。

町長　昨年は、アドベンチャートラベルワールドサミットの、モデルツアーのコース造成に傾注して進めたため、アメリカ・ドイツ・カナダ・ブラジルから16名参加された。高原温泉の沼巡りや写真ミュージアム、また旭ヶ丘のレストランでの食事と上川大雪酒造のお酒も含めて、高い評価をされた。
また、秋から冬にかけて室内体験メニューとして4コースを企画し、8組20名が参加をされた。

溝口議員　本来DMOの役割は、旅行商品を提供するだけではなく、観光関係のほか農業・商業も含めた町の産業全体と、観光客とを絡めた事業を展開するために、観光庁が進める事業にのったと思う。5年が経過し国の予算もないと思うが、運営の見通しはどう考えているのか。

町長　DMOの役割としては、ご指摘のあったとおり、組織自体が観光に特化してはいるが、地域の総合商社としての位置づけがあると認識をしている。
財源については、国からの交付金はすでに終了しており、入湯税を100円増額している部分を補助金として給付している。

溝口議員

上川町では観光も大きな産業であり、人口減少を止めるためにも総合的に発展することが必要だと思う。営業努力は当然していただかなければならない。上川町全体の産業を取り巻きながら、お互いの連携を密にして今後も進めてほしい。

エゾジカ一斉駆除

有害鳥獣対策について

溝口議員

今、全道的にもハンター不足が問題になっている。上川町においてのハンター養成、支援などの具体策について伺いたい。

町長

ハンターは現在16名が在籍しており、うちライフル銃資格保持者4名、散弾銃資格保持者10名、わな資格保持者13名が在籍している。ここ数年で20代、30代のハンターも新たに加入しており、平均年齢は49歳となっている。

支援については、技術的な研修として射撃研修の費用助成を行うほか、エゾシカ一斉駆除およびカラス、ドバト一斉駆除を行うなど、ベテランハンターとともに捕獲技能を学べる機会の創出を行っている。また、一斉駆除に出役することで、免許更新時の技能講習免除に該当する証書を発行するなどの措置を講じている。

溝口議員

若いハンターのほとんどは自分の仕事を持っている。なかなか大変だと思うが、その辺の実態を町としても理解しているのか。

町長

まずハンターだけで生業になるかというと、そこもまた難しい状況だと理解をしている。どういった支援、対策を行いながら、ハンターの方々に活躍をしてもらうか考えていかなければならない。

ちなみに今、鹿の駆除については40代のハンターが約40％の割合で捕獲をしてくれている。ジビエの工場もできた。

溝口議員

関連して、農作物の被害防止でいえば、電気牧柵は一定の効果があるが、以前は中山間事業で電気牧柵の設置に対する助成があったが、国の査定でメニューがなくなった。何回か農業団体等からの要請もあったが、今後の対応等考えているのか。

町長

電気牧柵については、今年度も予算措置はしていない。検討したい。

みんなが輝くまちかみかわ事業補助金について

溝口議員

3つ目に、町民主体のまちづくりの中で「町民の皆様が主体的に実施する事業に対して、地域コミュニティをより活性化させるために住民と行政が一緒になってまちづくりを行う【みんなが輝くまちかみかわ事業補助金】を創設する」とあるが、具体的にどのような事業に利用できるのか伺いたい。

町長

事例としては、花植えや植栽による景観の改良事業や、ＤＩＹで町内会の会館を修繕したり施設の有効活用を促したりするイノベーション事業、子どもたちの居場所づくりや各種体験事業、世代間交流、見守り活動など、幅広く様々な分野で活用していただくことを

イメージしている。
予算規模は、本年度の町民税収入見込み1億5，６００万円の約１％にあたる１５０万円としたい。

溝口議員

１年で終わる事業も複数年続ける事業も、同じようにお金を出すという考えなのか。

町長

私としては1年間の事業に限らず、2年、長くても3年程度と思ってはいるが、そういった継続事業についても毎年補助をしていけるような制度設計をしたい。

溝口議員

複数年予算付けも考えたいということだが、１５０万円の予算はやはり少なめかなと思う。

町長

予算額は、町民税の１％の１５０万円を目安としている。毎年その年の町民税の１％を基金に積んで財源を確保していきたい。その年によって支出額は違ってくると思われる。残った財源はしっかり基金に積んでいく形をとりたい。
事業が多くなって、当たらないと支援されないということがないよう進めていきたい。

溝口議員

これから周知徹底されるのだと思うが、町民に使い勝手がいいことと、やはり公平感をもって、皆さんが理解したうえで使っていただけるような内容で、今後進めてほしい。

農　業

若手農家のための基盤整備を
町長「対話による地域計画策定したい」

（石山浩幸（いしやまひろゆき）議員）

農業の基盤整備事業について

石山議員

今、上川町では、優秀な若い世代が一生懸命営農しているが、今後ますます農地の集積をこの世代にお願いしなければならない。限られた人数で農地を引き継いでいくには、基盤整備事業が必須であり早急に始めなければならない。
しかし今、肥料、燃油、生産資材の高騰により、投資に回せないのが実情であり、また町独自に行っている基盤整備助成も工事費単価20万円程度であった単価も今では30万円もかかっているのが実情である。
次世代に負担なく農地の引き継ぎが行なわれるよう、国営・道営土地改良事業などによる基盤整備事業が必要と考えるが、町長の考えを伺う。

町長

上川町の農業については、全国的な情勢と同様に人口減少や農業者の高齢化による担い手不足といった問題に直面している。
これらの影響により町内各地域においては、若い世代の農業者が中心となり積極的に営農が行われているものの、総体的に労働力不足が生じていることから、農業の生産性向上や更なる効率化が求められていると認識している。
町としては、令和３年度にＪＡ上川中央のご協力をいただき農業者に聴き取り調査を実施し、令和

4年度から令和8年度までの5か年で基盤整備計画に沿った形で農地改善対策事業を実施し、農業者への支援を行うこととなっている。

しかしながら、急激な物価高騰や原油高などに起因した生産資材の高騰や基盤整備に係る工事費単価の上昇も著しいことから、農業情勢の変化にいち早く対応した取り組みを農業者及び関係団体とも広く協議を行いながら進めたいと考えている。

また、国からの方針により本年度末までに、関係者が一体となり地域農業をどのように維持・発展させていくのか、おおむね10年後の農地利用の姿を明確にするなど「地域計画」の策定を行っていく。

計画の策定に際しては、国営・道営土地改良事業などの基盤整備事業の検討も含めて、地域の実情と実態に合わせた計画内容となるよう協議を進めていく。

石山議員

町長の答弁にあるように農業者および関係団体との協議を早急に行ってほしい。

町長

今回の地域計画の策定が、上川町の今後の農業においても契機となればと思っている。しっかり農業者の皆さんと対話をしながら、この農地の基盤整備、どういった基盤整備がいいのか、単純な地域計画がどの土地を誰が利用するといったような、そういった計画に終わらせることのないよう、しっかり進めていきたい。

町長行政報告

公共施設の警備・清掃業者について

令和６年３月上旬に、町内で警備や清掃業務を営む事業者が諸事情により、本年３月末をもって廃業する旨の申し出があった。

急な申し出であり、その事業者が請け負っている役場庁舎等公共施設の警備や清掃業務について、新たな引受先について選定する時間がないことから、その業務引受先として協議を行っていた旭川市の新事業者と３月21日に交渉を行い、継続就労を希望する雇用者全員を雇用すること及び４月１日までに業務の円滑な引継ぎを行うことを条件に、１者随意契約を締結することで合意に至った。

また、新事業者との協議の中で、当該業務に係る単価が適正価格よりも低いこと及び人員確保のため新たに旭川市から派遣される職員に対する交通費について積算する必要があることが判明した。このことから、当初予算額では不足額が生じることから、予算の範囲内で、４月１日から９月30日までの半年間の契約を締結した。

今後は、当該不足額の対応について、補正予算案を提出し、10月以降の契約締結を進めていく。

議案審議結果

審議結果については、全て原案のとおり「全員賛成」で可決・承認等をしました。

５月定例会

５月13日に開会し、会期は28日まで。財産の取得1件、条例の一部改正５件、令和６年度一般会計ほか全２会計の補正予算などの10件を審議し、27日閉会。

可決議案等

■財産の取得

◎財産（総合行政ネットワークシステム機器）の取得について

○サーバー機ソフトウェア、職員用端末４０台、および関連機器の更新整備を行う。

■条例の改正

◎「上川町税条例」の一部を改正する条例について

○令和６年度分の個人住民税所得割額から１万円の定額減税を行うなどの規定、能登半島地震により住宅や家財の消失等の損害を被った納税者の個人住民税についての特例を設ける規定等の改正を行った。

◎「上川町都市計画税条例」の一部を改正する条例について

○宅地及び農地等に係る負担調整措置を令和８年度まで延長するための規定の改正を行った。

◎「上川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例」の一部を改正する条例について

○小規模保育事業所等の職員配置を、満３歳以上満４歳未満の児童において、おおむね１５人につき１人以上の職員、満４歳以上の児童において、おおむね２５人につき１人以上の職員を配置するよう基準を改正した。

◎「上川町国民健康保険税条例」の一部を改正する条例について

○賦課限度額の引き上げと、低所得者に対する軽減措置の所得判定基準の引き上げ等を行った。

◎「上川町いきいき福祉健康施設設置条例」の一部を改正する条例について

○温浴施設の無料開放の日時を設けることができる規定の追加と、使用料の表に「月額券」を追加した。

「たいせつの絆」にマンスリーパスや無料入浴日ができるよ！

■議員派遣

◎7月　姉妹友好40周年記念訪問団（カナダ　ロッキーマウンテンハウス町）他

議会の様子（5月27日）

■補正予算

◎令和6年度上川町一般会計補正予算（第1号）

主な内容

款	補正額	補正前の額	補正後の額
	1,405万1千円	55億6,800万円	55億8,205万1千円
総務費	8万8千円	戸籍システムへの認印登録委託料	
衛生費	22万円	健康管理システム改修委託料	
農林水産業費	375万7千円	農業委員会インターネット通信料、地域計画策定推進緊急対策事業委託料	
商工労働観光費	400万円	フラッテロ・ディ・ミクニの修繕料	
土木費	543万7千円	除雪ロータリー車の修繕料	
教育費	54万9千円	学童保育センターのスポット冷暖エアコン購入費、栄町パークゴルフ場芝刈り機等購入費	

◎令和6年度上川町国民健康保険上川町立診療所事業特別会計補正予算（第1号）

主な内容

款	補正額	補正前の額	補正後の額
	23万9千円	4億4,589万円	4億4,612万9千円
総務費	18万7千円	通信料、電子カルテ設定委託料	
医業費	5万2千円	LED式視力検査器の購入費	

次回定例会のオンライン動画配信サイト「YouTube」でのライブ中継と録画映像配信は9月中旬の予定です。ぜひご覧下さい。

上川町議会チャンネル（町のホームページではありません）

ＵＲＬ：https://www.youtube.com/watch?v=HZzMLRyEWuo

（動画配信ＱＲコード）

◎令和６年度上川町一般会計補正予算（第２号）

主な内容

款	補正額	補正前の額	補正後の額
	4 億 7,191 万 9 千円	55 億 8,205 万 1 千円	60 億 5,397 万円
総務費	1 億 602 万円	くらしのアプリ導入事業委託料、庁舎外壁補修工事請負費、コンビニ交付システム構築事業委託料　等	
民生費	1,153 万 1 千円	**保育 ICT 導入業務委託料**、結婚新生活支援補助金　等	
衛生費	263 万 3 千円	新型コロナワクチン予防接種手数料　等	
農林水産業費	2,934 万 3 千円	**農地改善対策事業補助金、サステナブルコンテンツ推進事業（修繕料）**　等	
商工労働観光費	165 万円	北の山岳リゾート認知拡大事業委託料	
土木費	2 億 5,433 万 8 千円	町道間口除雪委託料、日東古川橋補修調査設計業務委託料、金竜橋補修工事請負費、**旭町団地長寿命化事業工事請負費**、住宅リフォーム等補助金　等	
消防費	457 万 6 千円	消防庁舎改修工事実施設計業務委託料	
教育費	6,182 万 8 千円	**小学校・中学校エアコン設置に伴う実施設計業務委託料**、かみんぐホール空調設備改修工事請負費　等	

Pick Up ！**小中学校にエアコンが導入されるよ。熱中症を心配してきた保護者さんもこれで一安心だね！**

■質疑内容

◎議案第43号　上川町一般会計補正予算（第２号）

【第３款　民生費】

Q（**宮本議員**）認定こども園の保育 ICT 導入とあるが具体的に教えてほしい。保護者にとってはどのように変わるのか。

A（**保健福祉課長**）登園記録・欠席記録・日誌・健康管理などをシステム化・電子化していく。保護者については、スマートフォンに QR コードを入れてもらい、登園の時に認定こども園に設置した機械にかざす。これによって登園を管理する。

【第５款　農林水産業費】

Q（**昔農議員**）農地改善対策事業補助金は令和４年から８年までの事業で、３割の補助とのこと。農業情勢が厳しく事業も急がれる中、補助率も含めた制度の見直しも必要ではないか。

A（**産業経済課長**）今年度は１法人２個人が補助対象となり、現在工事を行っている。確かに工事単価の上昇により、農家も手が挙げづらくなってきている。額を増やすことも検討したい。

Q（**大村議員**）サステナブルコンテンツ推進事業で昨年度マウンテンバイクコースを造ったが、今後の活用やマウンテンバイクの修繕費など、今後の見通しは。

A（**産業経済課長**）マウンテンバイクの修繕やファームウェアのアップデートで経費が高め。コースはもともと、森の良さを知ってもらうための施設であるが、観光面でも注目されており、町としての位置づけを再検討したいと思う。

【第７款　土木費】

Q（笠間議員）旭町公営住宅の外壁工事を今回行うということだが、室内のカビも酷いと町民から聞いている。こちらの対処は。

A（建設水道課長）今年度、修繕費として予算計上し発注も行った。今後はカビにくくなるよう換気設備を設けたり、施設利用方法を再確認したりするなど防止に努める。

【第９款　教育費】

Q（昔農議員）小中学校のエアコン整備のスケジュールは。令和７年の夏には間に合うのか。

A（教育次長）最短で令和７年３月に着工。進み具合によっては一部分でも稼働できる可能性はあるが、基本的には令和７年度中に工事を完了させ、令和８年度から稼働する。

意見書を提出しました

◆食料自給率向上を政府の法的義務とすることを求める意見書　（提出者　溝口久男）

◆生涯を通じた歯科健診の実現を求める意見書　（提出者　小林健男）

◆ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書　（提出者　湯川秀一）

◆厳しい農業情勢を打開する改正基本法と関連法案を求める意見書　（提出者　石山浩幸）

◆令和６年度北海道最低賃金改正等に関する意見書　（提出者　泉勝雄）

◆北海道教育委員会「これからの高校づくりに関する指針」（改定版）を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書　（提出者　昔農正春）

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、他関係行政庁

「意見書ってなに？？」
『意見書は町から国へのお願い』

議員は上川町の政策の内容に町民代表として意見を反映させることで、
町民の生活をより良くすることができます。
しかし、町民にとって重要なことでも、それが国や道の
政策であるため、議員の力だけでは解決できないことがあります。
このようなとき国や道その他の機関に対し、「意見書」や
「要望書」を提出して問題の解決を求めています。

令和５年度　議員政務活動費

政務活動費は、地方自治法の規定に基づき、条例の定めるところにより、その議会の議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、議会の会派または議員に対し交付することができるもので、これを受けて上川町は「上川町議会政務活動費の交付に関する条例」を制定し、政務活動費の交付対象や金額および交付方法などを定めています。

令和５年度の各議員の政務活動費の使途状況は、次のとおりです。

（単位：円）

項目＼議員名		安部　逸雄	笠間　法考	久米　得正	泉　勝雄	遠藤　和男	湯川　秀一
交付額		120,000	0	120,000	120,000	0	120,000
支出内訳	調査研究費						
	研修費						
	会議費						
	資料作成費						
	資料購入費	19,755		10,041	10,040		10,040
	広報費						
	事務費	755			755		
	計	20,510	0	10,041	10,795	0	10,040
返還額		99,490	0	109,959	109,205	0	109,960

項目＼議員名		宮本　敬嘉	籠味　正樹	溝口　久男	昔農　正春	濱田　純子	合　計
交付額		120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	1,080,000
支出内訳	調査研究費						
	研修費					20,000	20,000
	会議費						
	資料作成費						
	資料購入費	10,041	6,000	19,641	10,041	48,536	144,135
	広報費						
	事務費			6,101	2,746	755	11,112
	計	10,041	6,000	25,742	12,787	69,291	175,247
返還額		109,959	114,000	94,258	107,213	50,709	904,753

まちづくりトークをしませんか？

地域の課題について懇談しませんか？

議会に対するアンケートを実施したところ「町民との対話、自治会や各種団体との意見交換の場」の要望の声が最も多く寄せられました。各種団体、町民グループ等との意見交換会を募集します。

申込先～議会事務局

電話（01658）2-4064　FAX（01658）2-1220

委員会の動き

総務文教常任委員会

◎意見書審査
▽5月20日
・所管事務に関する意見書の審査

◎事務調査
▽5月20日
・年間所管事務調査の運用方針・計画の策定について
《調査内容》
令和6年度年間活動計画を協議し、所管事務調査主要テーマと年間スケジュールを決定。

産業福祉常任委員会

◎事務調査
▽5月22日
・年間所管事務調査の運用方針・計画の策定について
・上川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
・上川町いきいき福祉健康施設（たいせつの絆）設置条例の一部を改正する条例について
《調査内容》
令和6年度年間活動計画を協議し、所管事務調査主要テーマ及び年間スケジュールの決定。
その他、保健福祉課から条例改正の内容の説明を受けた。

たいせつの絆について

保健福祉課長
これまでも回数券はあったが、毎日利用する町民がいること、層雲峡の黒岳の湯が月額券の販売をしていること、町民からの要望があったことから月額券の導入を提案する。
また、普段利用されない人も含めて気軽に施設を施設を利用してもらうために町民無料の日を設ける。

湯川委員
たいせつの絆は65歳以上の人が無料で毎日入れるが、郊外に住んでいる人は、黒岳の湯を利用してもらい、無料の回数が決まっていたと思う。その回数は何回か。

町長
年間105回である。
層雲峡など郊外地区の人は、ふれあいセンター（以前の公共温浴施設）になかなか入浴に来られないということで、代替措置として黒岳の湯を利用してもらうようになった。当時の話し合いでは「週に2回ぐらい」という考え方があり、そこから年間日数を決めたと聞いている。

湯川委員
層雲峡の人から「もう少し入りたい」との要望があった。改善の検討を願う。

議会広報特別委員会

▽6月6日・6月18日
・第194号の編集及び校正について

たいせつの絆の使用料

新設

区分	一回券	回数券（11枚）	月額券
小中学生	100円	1,000円	1,000円
高校生 一般	400円	4,000円	4,000円

表紙のコメント

高校の PR 用ポスターを学生が自主制作

上川高校の入学者募集用の新ポスターを同高校の２年生たちが制作しました。

地域活性化企業人の越中谷翔子さん、米田真依さん、カミカワークプロデューサーの曙玲奈さんを講師にお呼びし、それぞれが生業とするディレクター、デザインリサーチャー、カメラマンという仕事についてお話していただきました。

その中で学んだことをもとに６班に分かれコンセプト、キャッチコピー、写真イメージ等実際のポスター作製に必要な内容を学生自身が考えました。生まれた ６ つのアイデアをクラス内で提案し、最終案を選抜しました。

制作の様子

完成したポスター

町の議会を傍聴しませんか

次の定例会は

９月中旬の開催予定です。

詳細はチラシでお知らせします。
感染症の発生状況により傍聴を中止する場合があります。

【問い合わせ先】
議会事務局
☎(01658)２－４０６４(直通)

議会広報は、
上川町ホームページでもご覧いただけます。

議会・議会広報 に対して
みなさまのご意見をお寄せください。

※広報委員（宮本、大村、笠間、渕上、小林）
または、議会事務局へ　**電話（01658）２－４０６４（直通）**

【ホームページアドレス】
https://www.town.hokkaido-kamikawa.lg.jp